

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月1日

事業所名 MIRAI KODOU

		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○	利用児に合わせて物品や布団の配置を変更して対応しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○	人員配置基準を満たしています。基本的に個別対応を行っているため、1対1で対応しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○	室内外共にバリアフリーの構造になっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○	毎日、清掃、消毒を行う事で清潔な環境作りに努めています。汚染時にはすぐに清掃、消毒を行っています。常時、空気清浄機、加湿器を設置しており、快適な室温、湿度を保っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○	PDCAサイクルを心がけ、朝礼や終礼、看護師会、理学療法士会を定期的に開催し、運営会議を月1回行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○	保護者等の意見を踏まえ、記録の残し方を変更するなど業務の改善に繋げています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	令和2年度よりホームページで自己評価を公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価を検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	事業内研修だけでなく、外部研修にも参加し、外部研修の参加者はスタッフに伝達講習を行っています。	今年度は当事業所より相談支援初任者研修1名、児童発達支援管理責任者基礎研修1名の受講がありました。日本小児看護学会「小児看護スキルアップ研修」の受講者1名おります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○	定期的に保護者との面談や、送迎時や日々の利用時に連絡帳や電話、LINEなどを通してニーズや課題を確認し、個別支援計画書に反映させています。保護者からのニーズはアセスメント用紙に記録を残しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	今後、適応行動の把握のため標準化したアセスメントツールを考案していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○	計画書に沿った支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	集団療育や日々の療育について他職種、他事業所を交えての話し合いを持ちチームで活動プログラムを立案しています。	チームで立案したプログラムを日々の療育内容に反映しやすいようプログラムの週間、月間予定をスタッフ間で情報共有していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	毎月、活動プログラムを立案しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○	個々の発達段階や課題に応じて内容を発展させています。集団療育も週1~2回取り入れています。また季節の行事を取り入れ制作活動も児童と一緒にしています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	朝礼で各自の役割分担、業務調整を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	終礼を行い、連絡ノートに内容を記録しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	日々の活動記録はHUGに記録しています。	
適切な支援の提供	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	3~6か月毎にモニタリングをおこなっております。ニーズの変更、追加時、医療的ケアの変更時にもモニタリングを行い計画書の変更を行っております。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者、児童発達管理責任者を中心に各職種が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		小松市、能美市の医療的ケア部会に定期的に参加しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		小松市、能美市の医療的ケア部会に定期的に参加しています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		今年度、カンニューレ交換の様子を病院に見学に行くことができました。呼吸器の会社にも依頼して、呼吸器の勉強会も開催しました。	保護者を通して、必要時医療機関との連携も強化していきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保育所との関係者と連携をとって情報を共有したり、保育所への移行の支援を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		医療的ケア部会等の参加や学校への送迎時などを通して、顔の見える関係づくりにつとめています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		医療的ケア部会で関係作りにつとめています。	今後、積極的に他施設の見学や連携、情報共有に努めていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		現在、感染症対策のため他の保育園等との交流は行っておりません。	感染症が落ち着きましたら、保育園等との交流も検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○		ペアレントトレーニングの研修の受講はしていません。	今後、家族支援プログラムについての研修には参加していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		計画書更新の月に保護者との面談を行っています。	計画書更新月以外にも、機会をみて子育て等の思いを傾聴する場を提供していきます。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会の活動を支援する活動は現在できておりませんが、施設のイベントを通して家族交流の機会は持っています。	来年度も、イベントを通して家族交流を引き続き継続していきます。
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		できるだけ迅速に対応しています。	
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		季節ごとにお便りを発行しています。	
38		個人情報の取扱いに十分注意している	○			
39		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを改正中です。	各マニュアルをスタッフ、保護者に周知していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		2回/年の防災訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット、インシデント、アクシデント報告書をまとめ、事業所内で共有をしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		2回/年、虐待防止委員会を開催し、職員に伝達講習を行っている。	

47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			
----	--	---	--	--	--